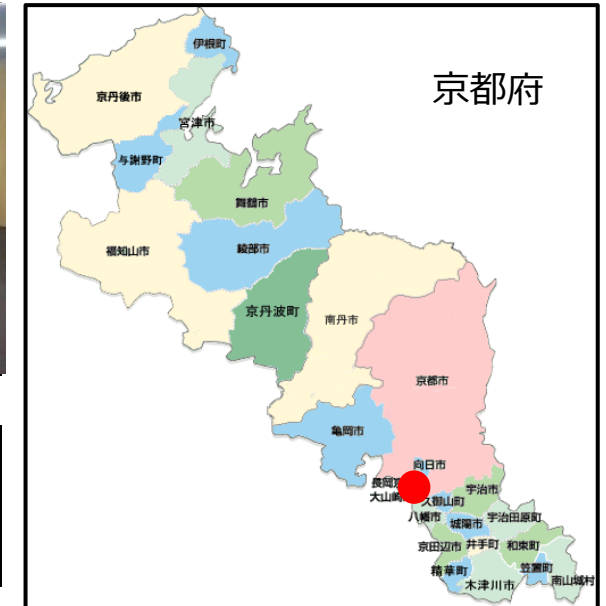


「農業委員会による目標地図の案づくり」

京都府 長岡京市農業委員会

1 農業委員会の体制と市町村行政との連携状況

○ 農業委員	:	14人
○ 農地利用最適化推進委員	:	3人
○ 事務局職員	:	3人
○ (関係団体名)	:	
○ 市町村行政との連携状況	:	
市担当課が事務局を兼務している。		



2 地区の特徴、状況、課題

- 長岡京市は京都と大阪の大消費市場を抱えた優位な立地条件の中、都市近郊農業を展開
- 水稻栽培に加え、「なす」や京のブランド産品「花菜」、特産の「たけのこ」の栽培が盛ん
- 農地の減少に伴って農家数も減少し、農家の後継者不足が課題

3 委員による継続した話し合いの取組内容

- 農業委員会総会後の地区連絡会議において、3地区に分かれて「地域計画」に係る現況地図の確認・修正作業を実施
- 集落で話し合いを進めるにあたり、今後のスケジュールとやるべきことが一目で分かるフロー図を作成して欲しい、など前向きな意見が出された。
- 次のステップである目標地図素案の作成については、集落段階の話し合いに向け、農業委員と農家組合長が連携して取り組めるよう、令和6年1月に相談する場を設ける予定

4 成果（「地域計画」の策定に向けた取組内容）

一部の集落では、「地域計画」に係る現況地図の確認が終了しつつある。

令和6年1月から着手予定の、目標地図素案作成に向けた準備が整いつつある。

※事例候補（地区連絡会議の単位が望ましい）の選定や作成にあたっては、農業会議の現地推進役と相談してください